

CAR Newsletter

2025年11月号



@LITTLE_EDO_SAWARA

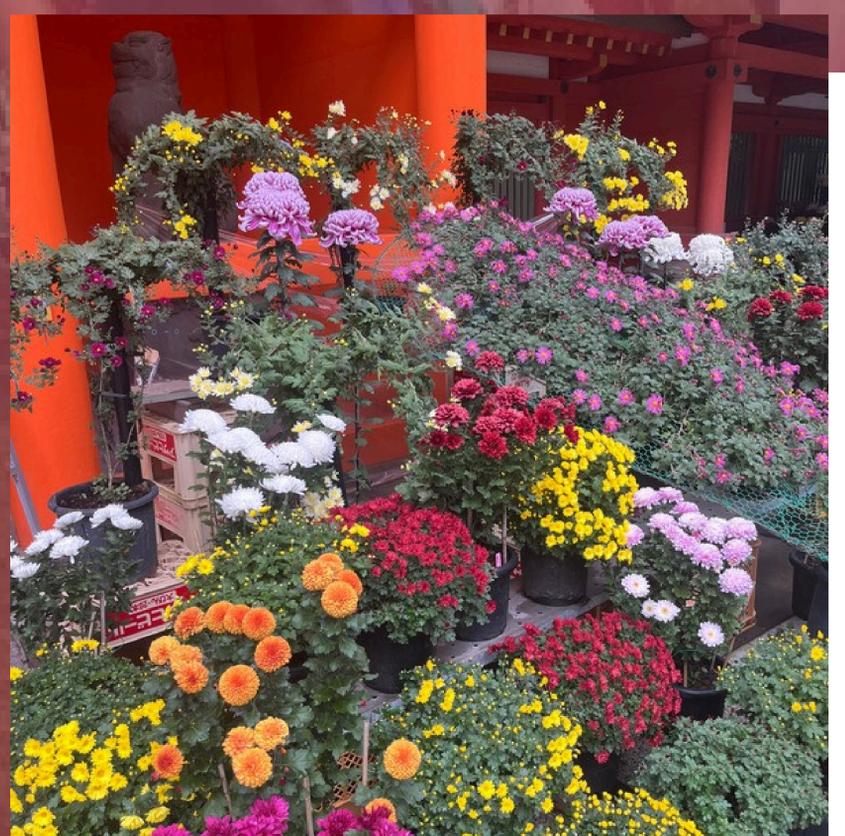
Instagram



Facebook

香取市に着いてから3ヶ月が経っています。新生活に少しずつ慣れて、暮らしが大分ルーティーン化してきたせいか、時間が経つのがとても早く感じます。あんなに暑かった夏が一気に冬めいてきて、私としたことが冬季対策が少し遅れています。最近冬用の毛布がやっと届いたばかりですが、寝心地がとても良くて、いくら外が冷えても今年の冬は快適に越せそうな気がしてきました。まだまだ秋ですけどね… 😊

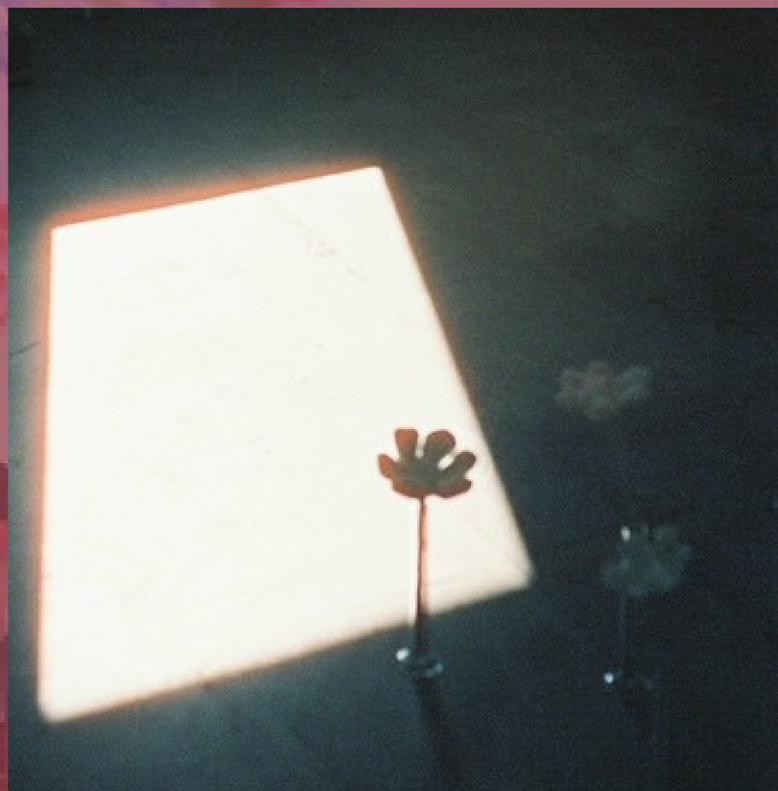
アメリカでは学年が9月に始まるので、子供の頃は秋が嫌いだったのですが、大人になるに連れて秋がどんどん好きになってきて、今や自分の好きな季節はと聞かれたら即答で秋です。紅葉や風情といい、気候といい、楽しみなことがいっぱいです。





そんな楽しみの中の一つとして、アメリカは11月がやってくるとサンクスギビングの時期に入ります。サンクスギビングは英語で文字の通り「感謝する」という意味で、感謝祭、感謝の祝日のことを言います。11月の第4木曜日に祝われ、自分の身近な人やものに感謝するという日のことです。家族、親戚、今時はフレンズギビングと言って友人大集合で祝うこともあり、主流として七面鳥を焼いて食べます。その他にもさつまい、クランベリーを使用したソース、デザートにはアップルパイなどが出ますが、前述の通り毎年楽しみにするのが家族や友人で集まることです。私の家族はイタリアのルーツがあり、特に子供の頃はいつも手作りのイタリアン料理も出ていました。ラザニアが家族の中でも屈指の人気を誇り、毎年毎年祖父母と両親がキッチンで張り切って麺を打っている姿をいまだにはっきり覚えています。居間で朝はサンクスギビング・デイ・パレード、昼から夕方はアメフトが放送され、大のスポーツ好きの今は亡き祖父の歓声と怒号も耳に残っています。

あまりにも贅沢な宴が大抵夕方の4時ごろから始まり、3時間以上も食卓を囲んで食べたり飲んだりします。幼い頃は順番に何個か自分の感謝しているものをシェアしていたのですが、近年のサンクスギビングは会話がすっかり政治的討論会に変わりました。毎年のように「政治的な話は避けよう」という母の意向に逆らってもいつもそうなります。



意見が激しく飛び交ったりぶつかったりする中、美味しい料理を食べながら私は家族に恵まれているなあとつくづく思います。19歳のころ、スコットランドの大学に在学中の時、サンクスギビングを一人で過ごさないように父がわざわざスコットランドまで来てくれたことさえあります。

初めてサンクスギビングを一人で祝うことになりましたが、外国、日本、佐原に住むという冒険を全力で応援してくれている家族には変わらず感謝しています。ただ唯一違うのは、今年は七面鳥やラザニアがセブンのおむすびとカツサンドになることでしょうか。